岩高吹奏楽部
OB会報
発行 岩谷堂高校吹奏楽部OB会 昭和43年10月28日
オ2号

オ四回定期演奏会
九月十六日に決定
新体育館落成・五十周年記念

恒例の岩谷堂高校吹奏楽部オ四回定期演奏会は、来る十一月十六日土曜日午後二時より、岩谷堂高校新体育館で行なわれることが決まりました。

岩高の定期演奏会は、昭和四十年に音楽部と共催により「オ一回岩高音楽会」として開催され、オ三回の昨年は、吹奏楽部単独で「定期演奏会」として行なわれて今年で四年目を迎えるわけです。

特に今年は、待望の新体育館落成、さらには創立五十周年を記念して行なわれることになりますが、今年は三年に一度の、しかも創立五十周年を記念する年の大運動会が、十月十四日に予定されたため、それが済むまでは全く定期演奏会の日取りについての見通しが立たない有様でしたが、運動会終了後、部員、顧問の先生が学校側と話し合った結果、十一月十九日新体育館を会場として行なわれることが確定的となったため、二十二日、部員は暗幕を始め、照明、スロープラム、ポスターなど各係の担当者を決め、本格的にその準備を始めました。

ところで、この定期演奏会は、例年ですと十月の オ三又は オ四土曜日に行なわれているのですが、今年は三年に一度の、しかも創立五十周年を記念する年の大運動会が、十月十四日に予定されたため、それが済むまでは全く定期演奏会の日取りについての見通しが立たない有様でしたが、運動会終了後、部員、顧問の先生が学校側と話し合った結果、十一月十九日新体育館を会場として行なわれることが確定的となったため、二十二日、部員は暗幕を始め、照明、スロープラム、ポスターなど各係の担当者を決め、本格的にその準備を始めました。

開演、演奏会に要する費用は今まで入場料などによってまかなわれてきましたが、今日は入場料を取らないでその経費は全額的に学校として負担するということで、今年は昨年にもまして全校の協力的なふん囲気が感じられ、吹奏楽に対する認識の深まりを示すものと思われます。

市教委・日報社も後援

オ四回定期演奏会はOB会の他に、江刺市教育委員会、岩手日報社も後援者となるものと思われます。これはこのことについて連絡員が数育委員会、岩手日報社に対して非公式に問い合わせたところ、快く引き受ける旨の返事が得られたため、学校側として、近いうちに江刺市教育委員会、岩手日報社に対して、正式に後援依頼の文書を送るものと思われます。

岩高の定期演奏会が対外的に後援を受けるのは昨年の例を引とすれば今度が始めてです。このようなことは、吹奏楽の盛んな地域においてはごく普通に行なわれることであり、江刺においても、音楽に対する理解が深まって行くことが望まれ、「この場合特に」岩高吹奏楽部の定期演奏会が地域住民に対してもアピールしてみることを思わずにはいられません。最も当人達からすればひたすら吹奏楽を求めるだけということになるかも知れませんが!!

入会願

オ四回定期演奏会は、岩手日報社も後援者となるものと思われます。これはこのことについて連絡員が数育委員会、岩手日報社に対して非公式に問い合わせたところ、快く引き受ける旨の返事が得られたため、学校側として、近いうちに江刺市教育委員会、岩手日報社に対して、正式に後援依頼の文書を送るものと思われます。

岩高の定期演奏会が対外的に後援を受けるのは昨年の例を引とすれば今度が始めてです。このようなことは、吹奏楽の盛んな地域においてはごく普通に行なわれることであり、江刺においても、音楽に対する理解が深まって行くことが望まれ、「この場合特に」岩高吹奏楽部の定期演奏会が地域住民に対してもアピールしてみることを思わずにはいられません。最も当人達からすればひたすら吹奏楽を求めるだけということになるかも知れませんが!!

入会願を提出して下さい。OB会報オ一号発送の際、月封致しました「入会願」は、私達OB会設立の根拠としてお互いの存在を確認する意味においても大切に保存したいと思います。野暮ったいことかも知れませんが、出来るだけ早くお願いします。設立前にすべきことたったオも知れません。このような形になりました。宜しくお願いします。

評議員決まる

――千田辰男さん他六名を指名――

仙道英明（42）

岩谷堂高校吹奏楽部OB会は、会則第十四条第三項により、千田辰男さん（昭和三十九年度卒業）を始め七名の評議員を執行委員会の指名により選出した。カッコ内の数字は卒業年度。

千田辰男（39）　菅原ミ工（39）　高橋喜久弥（40）　菊池敏明（41）　佐々木正明（41）　鹿野真一（42）

以上七名です。尚、評議員会をたびたび開くことには非常な困難がありますので、それに変わるものとして手紙など文書による場合も必要かと思いますので御了承願います。

▼機関誌編集委員六名決まる▲

OB会機関誌は十二月末発行の予定ですが、その編集委員が現役部員を含めて六名決まっておりますのでお知らせ致します。

菊地憲一、遠藤一夫、菊池秀治、斉藤有（一年）、高橋哲夫（二年）阿部イク子（三年）。

創刊号ですので全員一言づつでも書きたいと思いますので、その際は宣しくお願いします。

「ベン・ハー」「新世界より」を演奏

OBとの合同演奏・ピックアップバンドも予定

十一月十六日に行なわれる予定の第四岩高定期演奏会の演奏曲目は既に決定し、部員は毎日練習に励んでおりますが、その中のいくつかを紹介してみます。

今回の本命は、何といっても「ベン・ハー」と「新世界より」の二曲にしぼられるものと思われます。特に「ベン・ハー」のあの独特の和音が織成す曲想をどのようにまとめて表現するかが大きな問題と思われます。技術的な面においてもかなり高度なものです。その点では「新世界」も同様です。他に「プロ[illegible]」「[illegible]」などをプログラムに入れており、OBとの合同演奏も予定しています。

住所変更

熊谷哲郎君の住所が次のように変わっておりますのでお手もとの住所録を今すぐ訂正して下さい。

青森県弘前市

なお、これはこの地域が住居表示区域となったためで場所は変わりありません。

編集手帳

編集のミスから第一号会報でお知らせ出来ませんでしたので、連絡員が二人決まっていることをこの欄を借りてお知らせします。遠藤一夫、菊池ちづ子の二名で、いづれも地元に住居者ということで決められたわけで、この会報は主に連絡員によって編集されています▼第四回岩高定期演奏会は「創立五十周年・体育館落成記念」として十一月十六日新体育館で行なわれます。入場料無料ですので当日都合のつく方はどうぞ館山までおいで下さい▼三年に一度の大運動会が十月十四日、館山グランドで盛大に催されました。三年に一度ということで大会運営の面で不安な点もあったようですが、生徒の自主的な活動によって大成功のうちに終ったということです▼機関誌の編集も始めなければならない時期です。十一月二十日頃までに原稿をお願いします。編集の都合もありますので早めにお願いしたいと思います。